

協創挑校  
働造戦訓  北海道千歳高等支援学校  
Hokkaido Chitose Support High school

令和5年度 第4号

令和6年3月25日(月)発行



## 「一年を振り返って」 北海道千歳高等支援学校長 久富正規

令和5年度を振り返ると今年度も新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことから行事を始めとした様々な学習の方法や内容について積極的な姿勢で見直し、学習活動を進めてきました。しかし、4月に1学年を対象に新型コロナウイルス感染症による臨時休校措置をとるなどの事態にもなり、生徒の皆さん、保護者の皆様、地域や関係機関の皆様には、御理解と御協力をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

さて、去る3月2日に多くの御来賓と保護者の皆様に御臨席賜り、卒業証書授与式を挙行いたしました。22名の卒業生が堂々と頼もしい姿を見せて本校を巣立ちました。これからこそ人生の本番です。様々な挑戦をしながら社会を創造する一人として多くの人と協働した未来を進んでほしいと願っています。

今年度の教育活動では、行事等で生徒の姿を見ていただけるような機会が増えたことが一つの特徴だったと感じています。多くの人に本校の教育活動を見ていただくのは、私たち教職員にとっては勿論ですが、何よりも生徒にとって必要な経験だと考えています。そのため、生徒同士の関わりを意図的に設定した学習活動の実施など教職員の思いとそれをポジティブに考え進める取組は、生徒にも多大な影響があり、それぞれの取組の成功につながったと考えています。校訓「挑戦 Challenge」「創造 Creation」「協働 Collaboration」につながる取組がなされたことは、生徒にとっても職員にとっても貴重な経験となりました。

現在は、来年度に向けた準備も進んでいます。令和6年度は、新たに示された学習指導要領に基づいた学習計画の見直しや一部についてはその検証が必要な年になります。学習指導要領の改訂の経緯で「これからは、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展、絶え間ない技術革新によって社会構造や雇用環境が大きく変化し、予測困難な時代になる中で一人一人が持続可能な社会の担い手として新たな価値を生み出していくことが期待される」と示されています。新しい時代の担い手として生きていく生徒を育てるために教育課程の編成をより充実したものになるように進めていきます。新たな学びは、様々な教育活動の実際の中で磨かれていくために修正等も加えながらの教育活動となりますが、新しい時代の学びの充実を図るよう全職員で取り組んでまいります。御不明な点は勿論ですが、本校の教育活動に御意見や御要望などありましたら、是非お聞かせください。

振り返るとやはり大変なこともあったと感じる一年でしたが、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきました保護者の皆様、地域並びに関係機関の皆様に深く感謝申し上げます。



## 第1学年現場実習

第1学年進路担当 齋藤芳朗

2月13日（火）～16日（金）の4日間で2回目の現場実習が行われました。事前学習では、前回の現場実習や、学校生活での課題や成長したことを振り返りながら目標を設定し、良い緊張感を持って臨むことができました。

実習先は、全て千歳市内の職場となっており、北海道シーアイシー研究所、スーパーアークス、スーパーセンタートライアル、株式会社積水化成産品北海道、コープさっぽろ宅配事業部、旭新運輸開発株式会社、なんでもリサイクルビッグバン、ホテルルートイン、元気寿司株式会社魚べい、株式会社すかいらーくガスト千歳店の10社で、様々な仕事に取り組ませていただきました。

9月の実習とは違う職種の仕事で実施することで、職域を広げるとともに、仕事に対するイメージに膨らみを持たせることができましたようです。2年生でも、ステップアップした目標で実習に取り組みさらなる成長を願っています。



## 第2学年現場実習

第2学年進路担当 長崎由衣

2学年第3回現場実習（課題別実習）が2月13日（火）から22日（木）まで行われ、2名の生徒が校外での実習に行きました。これまでと違った職種を経験したことで、自分の得意不得意や新たな課題が見付き、進路選択に向けて大事な経験になりました。

校内実習では、ホテルグランテラスや真々地会館など校外での清掃や、学校内で教室や備品の清掃を行いました。校内実習は、慣れ親しんだメンバーで取り組むため校外で体験する職場実習とは違いますが、緊張感を持って取り組む生徒が多く見られました。どのような環境でも、働くことを意識しながら取り組むことで行動面や精神面で多くの力が身に付きます。

2学年では、現場実習や日常生活から成果と課題を見付けて自己理解を図り、懇談を重ねて進路を決定します。3年生として良いスタートが切れるよう、進路の実現に向けて今後も努力を重ねてほしいです。


  
 退職者・転出者からの挨拶



## 退職にあたって

小林美子

開校から11年、千歳高等支援学校で過ごさせていただきました。指導したことを素直に聞いて、3年間でどんどん成長していく生徒たちを見るのはとても楽しく、充実した毎日でした。今年度、コロナによる規制が緩和されて行われた学校祭や3年生を送る会では、学年を越えて声を掛け合い一体感のある様子が見られて、とても思い出に残るものとなりました。社会に出ていろいろな経験をして、大人として自立していく生徒たちの今後を応援しています。本当にお世話になりました。ありがとうございました。



## 退職にあたって

高橋 真由美

1年間、大変お世話になりました。この千歳高等支援学校で、様々な場面を通して子供達と関わりお互い学び得ることができたこと、また先生方から御指導をいただいたことは、私にとってとても大切な時間であり、多くを経験する機会となりました。そして、これからまた特別支援の道をもっと理解し知っていきたい、と思える気持ちを持つことができた場所でした。この度は任期満了のため退職しますが、常に新しい気持ちで前進する、挑む、という志を忘れずに、これからも日々過ごしていきたいと思っております。

皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



## 転出にあたって

小田 雄介

開校から11年間、たくさんの生徒の皆さんと出会い、授業や学校行事だけではなく、登校した時や休み時間など本当に楽しい時間を過ごさせてもらったと感じています。また、社会人として活躍している卒業生の姿に成長を感じ、自分も頑張らなければと卒業生から力をもらうこともありました。開校から新しいものをつくる、始めることを経験し、自分も少し成長できたのかなと思っています。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様に御理解、御協力いただきありがとうございました。

これからも生徒の皆さんが頑張っていく姿を北広島から応援しています。11年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。



## 転出にあたって

斉藤 真美

開校から11年間、大変お世話になりました。

生徒の皆さんと革工作業をする中で、皆さんの意欲的な姿、明るい笑顔に、私も元気とやる気を沢山いただき、とても大切な時間を過ごすことができました。

千歳高等支援学校で経験したことを次の学校で生かし、新たな気持ちで頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。



## 感謝

谷内 正則

11年間、大変お世話になりました。この地で、皆さまの暖かい御支援のおかげで、多くの生徒や同僚、地域の皆様と関わり、学ばせていただきました。この経験を、今後の人生の糧とし、至誠一貫、勤儉力行を心がけ、過ごしていきたいと思っております。心から感謝申し上げます。

## 今後の主な学校行事



3月26日(火)	学年末休業～31	4月17日(水)	新入生歓迎会
4月1日(月)	学年始休業～7	4月18日(木)	耳鼻科検診
4月8日(月)	第1学期始業式	4月22日(月)	保護者懇談・授業参観週間～5月2日
4月9日(火)	第12回入学式	4月26日(金)	スマホケータイ安全教室、PTA総会
4月10日(水)	3学年個別面談週間～19		卒業支援振興会総会 学年懇談・進路ガイダンス

※本校では日々の活動の様子をホームページ<<http://www.chitosekoushi.hokkaido-c.ed.jp>>に掲載しています。右のQRコードからアクセスし、「千高支日記」を御覧ください。

